

# 発刊のことば

い・あ・い・せ・つ

長谷小100周年記念実行委員会  
会長 穴見 豊之



梅香る二月二十八日、長谷小学校開校百周年記念式典が矢田町長はじめ多数の来賓の方々、そして全地区民・同窓生のご参加をいただき盛大に挙行できましたことを衷心より御礼申し上げます。

さらに、町当局、長谷地区民、および地区外在住の同窓生より物心両面にわたるご援助を賜り、記念事業の達成をみましたことに対し深く感謝を申し上げます。

長谷小学校は、明治二十年黒松簡易学校として発足し、明治・大正・昭和と幾変遷を経て今日に及び、本校で学んだ卒業生は三、七七六名

を数え、すぐれた多くの人材が輩出し、町内外において目覚ましい活躍をされております。

その間、長谷小学校を支えていただきました多くの先生方、そして、地域の方々のご苦勞は大変なことだったと思います。ここに改めて深い敬意を表します。

このたびの記念事業推進にあたっては、専門部を組織し、それぞれの部門別に鋭意その計画立案から実行段階へのご尽力をいただき、見事に所期の目的を果すことができました。

これを一つの節目として、さらに新たな前進をとげ、二十一世紀を担う子供達が、たくま

しく巣立っていつてほしいものであります。

ここに開校百周年記念事業の一環として、百年間の歩みを記念誌としてまとめ、後世に遺すことといたしました。この長谷地区教育百年の記念誌が各家庭に行きわたり、家庭談らんに花を咲かせ、永遠につきることのない想い出としていつまでも保存され、長谷教育の誇りを子子孫孫に語り継いでいつてほしいものです。

終わりに記念誌発刊にあたり、原稿・写真等を提供下さいました方々、そして編集にあられた皆様のご努力とご協力に対し、深く感謝申しあげ、刊行のことばといたします。